

- 記事 子どもたちの「自ら学ぶ力」と  
「家庭学習の習慣化」を ..... P3
- 連載 食がつなぐ みえの輪 ..... P3

## 県政だより

令和8年(2026) No.498

1

月号

特集

# 郷土の誇りを胸に、未来を拓く 三重県誕生150周年

三重県広報紙  
毎月1日発行／毎月第1日曜日新聞折込デジタル版は  
こちらカタログ  
ポケット

マイ広報紙

知事年頭のごあいさつ

## 皆さんとともに安心して暮らせる三重を

新年あけましておめでとうございます。

本年4月18日、三重県は誕生から150年を迎えます。これまで本県の発展を支えてきた先人の歩み、そして日々の生活を守り育んできた県民の皆さんのお力が、今の三重をつくってきました。この節目の年に、あらためて深く感謝申し上げます。

今、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変わっています。物価の高騰、子育てや教育の負担、メガソーラーなど大規模開発の状況、外国人住民に関する漠然とした不安といった、生活に身近な課題・テーマを巡ってお悩みの声などが多数寄せられています。県民の皆さんのが真摯に受け止め、暮らしの安全・安心につながる取り組みを着実に進めていかなければなりません。

長引く物価高など、厳しい社会情勢から県内産業や雇用を守り抜くための取り組みとして、地域の未来を支える中小企業への支援を続けるとともに、自動車や半導体など成長分野の振興に取り組みます。また、新技术を用いた農業・水産業の実証や、環境変化に対応した品種開発など、農林水産業の持続的な発展に取り組みます。さらに、三重県の主要産業の一つである観光産業について、観光インフラの整備や大都市圏・海外へのプロモーションを一層推進し、インバウンドも含めたさらなる誘客に取り組みます。

子育て・教育の支援では、県の補助金を活用し、各市町において、子ども・子育て支援の新しい取り組みが始まっています。今後も、市町と連携して子育てしやすい環境整備を進めることで、学びの多様化や不登校児童生徒への支援、いじめ対策などに取り組みます。

メガソーラーなどの太陽光発電事業については、生活・自然環境の影響などに対する地域の懸念が生じている例も見られるた

我が国最大の課題である人口減少は、国を挙げて対策を進める必要があります。本県も、ジェンダーギャップ解消施策の推進や移住の促進など、誰もが自分らしく活躍できる環境づくりを進めます。また、持続可能な地域公共交通の実現を目指し、公共交通手段の確保に取り組みます。

また、県民の命と尊厳を守るために、南海トラフ地震などの自然災害に備える防災対策やインフラ整備、医療・介護人材の確保の制定、「子どもを虐待から守る条例」や「三重県性暴力の根絶をめざす条例」に基づく取り組みなどを着実に進めていきます。

県民の皆さんとともに、一つひとつ課題に向き合い、安心して暮らせる三重、未来に希望を持てる三重をつくってまいります。本年が皆さんにとって、健やかで温かい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

三重県知事 一見勝之



# 郷土の誇りを胸に、未来を拓く 三重県誕生150周年

## 「150年」を未来へつなぐ

令和8年4月18日、本県は誕生から150年を迎えます。

明治のはじめに誕生した三重県は、戦争や災害など数々の困難に立ち向かいながら、県民一人ひとりの力と絆によって今日の姿を築いてきました。豊かな自然に寄り添い、文化を育み、産業やまちづくりの基盤を整えてきた先人たちの歩みは、今を生きる私たちの礎となっています。本特集では、「歴史」「自然・文化・暮らしの基盤」「県内イベント」の3つのテーマを通して、過去150年の歩みを振り返るとともに、これから三重の未来を見つめます。

変わりゆく時代の中でも、人と人、地域と地域が支え合い、希望を紡いできた三重。その物語を未来へとつなぐ新たな一步を、今ここから踏み出します。

\* 「県政だよりみえ4月号」で、記念式典や記念行事などをご紹介する予定です。

### さまざまな困難に立ち向かってきた「歴史」

#### 戦争

##### 過去から学び、平和をつなぐ

太平洋戦争中、四日市市や津市などでは空襲があり、多くの尊い命と暮らしが奪われました。戦争により建物や街並みは破壊され、生活の基盤は深く傷つきましたが、戦後、県民が力を合わせて復興に取り組みました。



1945年 空襲で焼け野原になった津市の市街地  
(写真: 太田金典)

#### 災害

##### 過去を教訓に、未来を守る

1959年9月に発生した伊勢湾台風がもたらした被害は甚大で、被害額は現在の価値に換算すると8兆7,000億円に上るとされています。被害の大きかった長島町の学生が伊勢市へ避難するなど、県内では助け合いの輪が広がりました。



1959年 甚大な被害をもたらした伊勢湾台風

### 先人が守り、築き上げてきた「自然・文化・暮らしの基盤」

#### 自然と文化

##### 守り、未来へつなぐ

先人たちの努力により豊かな自然と伝統的な文化が受け継がれ、育まれてきました。戦後初の国立公園として指定された「伊勢志摩国立公園」、世界遺産に登録された「熊野参詣道伊勢路(熊野古道)」など、三重の自然と文化的価値は世界にも認められています。



2004年  
熊野参詣道伊勢路(熊野古道)  
世界遺産登録



1946年 伊勢志摩国立公園誕生

#### インフラ

##### 暮らしを支え、未来を拓く

先人の不断の努力により生活道路網、高速道路網、鉄道網、電気、水道などの生活基盤が整備され、私たちは豊かな暮らしを享受することができます。

また、こうしたインフラは人やモノの流れを活発にし、三重の産業活動を支えています。



1993年  
伊勢自動車道全線開通



四日市石油化学コンビナート

#### 知事メッセージ

三重県は誕生から150周年を迎えます。

先人たちの歩みを振り返り、感謝の気持ちを心に刻むとともに、次世代を担う子どもたちが誇りを持って暮らせるよう、素晴らしい三重の歴史を未来につないでいきます！



### 2026年4月18日 タイムカプセルを開封します

三重県誕生100周年となる1976年の10月9日、未来への夢のプレゼントとして県庁前にタイムカプセルが埋設されました。このタイムカプセルは2026年4月18日に開封する予定です。



### 三重県の主な出来事

- 1876年 三重県誕生**
- 1882年**
- 自然** 日本初の公認海水浴場二見浦海水浴場開設
- 1893年**
- 文化** 御木本幸吉が世界初の半円真珠養殖成功
- 1899年**
- 暮らし** 四日市港開港
- 1914年**
- 歴史** 第一次世界大戦
- 1927年**
- 文化** 普通選挙による初の県議会議員選挙
- 1936年**
- イベント** 四日市大博覧会開催
- 1941年**
- 歴史** 太平洋戦争
- 1944年**
- 歴史** 昭和東南海地震
- 1945年**
- 歴史** 終戦
- 1946年**
- 自然** 戦後初の国立公園に伊勢志摩国立公園が指定
- 1947年**
- 暮らし** 第一回三重県知事選挙
- 1953年**
- 歴史** 第13号台風
- 暮らし** 全国初の有料道路参宮有料道路開通
- 1959年**
- 歴史** 伊勢湾台風
- 暮らし** 国鉄紀勢線(現在のJR紀勢本線)全線開通
- 1967年**
- 歴史** 四日市公害訴訟
- 1973年**
- 歴史** オイルショック
- 1975年**
- イベント** みえ国体開催
- 1976年**
- イベント** 三重県誕生100周年
- 1982年**
- 文化** 県立美術館開館
- 1984年**
- イベント** 第4回全国豊かな海づくり大会開催
- 1987年**
- イベント** 鈴鹿サーキットF1グランプリ初開催
- 1989年**
- 文化** 斎宮歴史博物館開館
- 1991年**
- 歴史** バブル経済崩壊
- 1993年**
- 暮らし** 伊勢自動車道全線開通
- 1994年**
- イベント** 世界祝祭博覧会(まつり博・三重'94)開催
- 2004年**
- 文化** 熊野参詣道伊勢路(熊野古道)世界遺産に登録
- 2008年**
- 歴史** リーマンショック
- 2011年**
- 歴史** 第12号台風 紀伊半島大水害
- 2014年**
- 文化** 県総合博物館開館
- 暮らし** 紀勢自動車道(三重県内の区間)全線開通
- 2016年**
- イベント** G7伊勢志摩サミット開催
- 2017年**
- イベント** 第27回全国菓子博覧会開催
- 2020年**
- 歴史** 新型コロナウイルス感染症流行
- 2023年**
- イベント** G7三重・伊勢志摩交通大臣会合開催
- 2025年**
- イベント** 第44回全国豊かな海づくり大会開催
- 2026年**
- イベント** 三重県誕生150周年

# 子どもたちの「自ら学ぶ力」と「家庭学習の習慣化」を

## 毎日の習慣の積み重ねが、大きな成長につながります！

子どもたちには、自ら成長する力と多くの可能性があります。毎日の家庭学習を続けることは、その力を伸ばす大切な第一歩です。家庭学習の中で、計画を立てて行動する「自己マネジメント力」、課題を見つけて工夫・改善する「課題解決力」、集中して粘り強く取り組む「集中力・忍耐力」といった力が育ち、ひいては自己肯定感の涵養につながります。

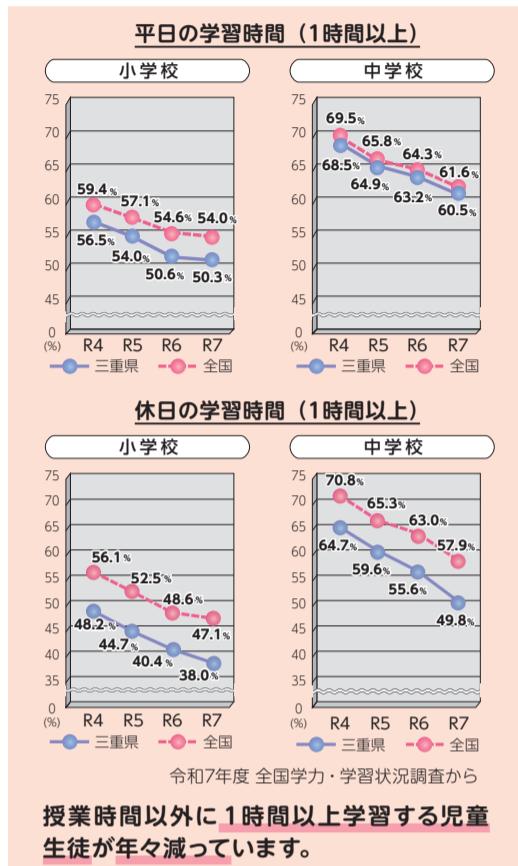
これらは、社会で自立して生きるために欠かせない力です。ご家庭での毎日の小さな習慣の積み重ねが、子どもたちの未来を支え、大人になって社会で生きる大きな力へとつながっていきます。

### 「家庭での学習」の現状は？

- お子さんは、いつも決まった時間や場所で宿題などをしていますか？
- お子さんを見守る中で、意欲やがんばりを認める声掛けをしていますか？



#### 家庭での時間の使い方

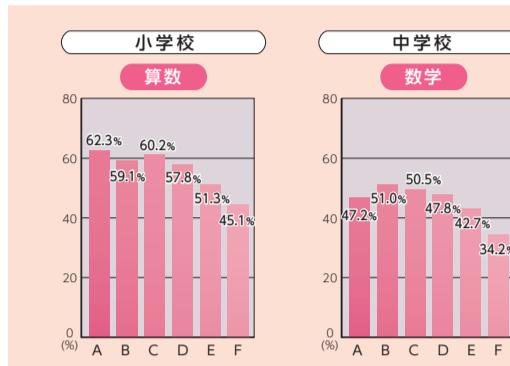


県教育委員会  
の取り組み

#### 学ぶ力を育て、学習習慣を確立する授業づくりの推進

子どもたちが学習習慣や生活習慣を自ら見直し、“計画・実践・振り返り”を通して自己マネジメント力や自己調整力を高めるモデル校の取り組みを、県内の小・中学校へ広げています。

#### 「平日の学習時間」と「平均正答率」の関係



平日の学習時間（「普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか？」）の回答に対する、教科（算数・数学）の平均正答率

A 3時間以上 D 30分以上、1時間より少ない  
B 2時間以上、3時間より少ない E 30分より少ない  
C 1時間以上、2時間より少ない F 全くしない

令和7年度 全国学力・学習状況調査から

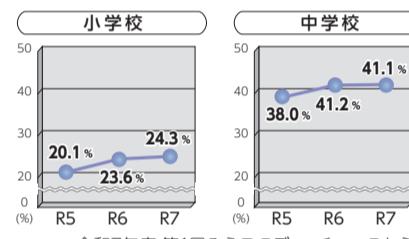
学校の授業時間以外での学習時間が長い子どもたちほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。

- お子さんがゲームやインターネットを利用するときのルールを決めていますか？
- お子さんが1日にどのくらいの時間、ゲームやインターネットを利用しているか知っていますか？
- 「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムを整えられていますか？



#### SNS利用や動画視聴の時間（3時間以上）

平日のSNS利用や動画視聴などの時間が3時間以上の児童生徒の割合は、年々増加傾向にあります。



#### 学習習慣の確立に向けた保護者との連携

学習習慣の確立に向け、三重県PTA連合会の会議などで取り組みを紹介し、保護者へのチラシ配布や動画の作成、みえの学力向上県民運動ホームページへの掲載など、家庭と連携した取り組みを進めています。

### 学習習慣を身につけるために

#### 一緒にルールづくりを

家庭での学習時間を確保し、テレビを消すなど環境を整えましょう。

ゲームやスマホの使用については、話し合って家庭のルールを決めましょう。



#### 早寝早起き朝ごはん

毎日ほぼ同じ時刻に起き、寝るなど規則正しい生活を心掛けましょう。「おはよう」「いただきます」「行ってきます」で、気持ちよく一日を始めましょう。



#### 子どもを褒める機会を！

子どもの意欲や取り組みの過程を認め、励まし、褒めてていきましょう。「なぜかな?」「どうしてそうなるのかな?」などの声掛けが、調べる習慣につながります。



みえの学力向上  
県民運動

問い合わせ先 教育委員会事務局 学力向上推進プロジェクトチーム ☎ 059・224・2931 ☎ 059・224・3023 ✉ gakupro@pref.mie.lg.jp

みえの学力向上 検索



### 三重のお雑煮っておもしろい！

お正月に多くのご家庭で食べられる「お雑煮」。東と西の文化が交わる三重県では、地域によって具材や味つけが少しずつ異なります。風土が映る“ふるさとの味”を地域ごとにのぞいてみましょう。

MieMu 三重のお雑煮 検索



みえの  
MieMuの  
こども体験展示室で、お雑煮のレプリカを展示しています。

#### 伊賀地域

「みそ汁・丸餅」が主流。大根・にんじん・里芋に豆腐を加えたお雑煮が多い。丸餅を上から押した「花びら餅」を使う家庭があるのも特徴。また、名張市を中心に、お雑煮の餅を取り出し、きなこをまぶすという、奈良県に多くみられる習慣も伝わる。



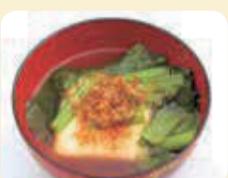
#### 松阪地域

「すまし汁・角餅」が主流。他の地域と比べて具沢山なのが特徴で、左の写真のお雑煮にも、大根、にんじん、里芋、ごぼう、青ねぎ、ほうれん草、油揚げ、かまぼこ、鶏肉と9種類の食材が使われている。



#### 北勢地域

「すまし汁・角餅」が主流。お正月に合わせて栽培される「もち菜」を使う家庭も多い。すまし汁に角餅と葉物野菜を入れ、上からかつおぶしをかけるという、この地域のお雑煮の定型は、名古屋のシンプルなお雑煮の影響を受けていると思われる。



#### 東紀州地域

「すまし汁・角餅」が主流。白菜、かまぼこ、きのこなどが入った具沢山のお雑煮で、8割近くの家庭で白菜を入れるのが特徴。かまぼこ型にした餅を端から切る「ねこ餅」も、この地域ならではの餅の形状である。



#### 南勢地域

「すまし汁・角餅または丸餅」が主流。具材には、葉物野菜や白菜が多く使われる。鳥羽市の離島にはあずきを用いた雑煮、鳥羽市や志摩市の一帯地域には、丸餅に茹でたあずきをのせた「あんぴん」が伝わるもの特徴。



問い合わせ先 県総合博物館 (MieMu) ☎ 059・228・2283 ☎ 059・229・8310 ✉ MieMu@pref.mie.lg.jp

三重で地域の発展や課題解決に貢献している人・団体を紹介

**つじがたり、かいかやく  
三重の未来**

株式会社つじ農園 つじ たけし  
代表取締役 辻 武史さん

デジタル技術を取り入れた米作りや人ととの交流を通じて、農村の可能性を広げています。

つじ農園

## 地域が元気になる農村の未来をつくりたい！

### 「デジタル技術」×「米作り」のきっかけは？

2016年まで愛知県の精密機械メーカーで、品質管理や生産技術、海外営業などを担当していました。出張先のヨーロッパのワイナリーで、夏はぶどうを育て、冬はワインを売る暮らしに出会い、すごく魅力を感じました。それで「米作りをしている実家なら同じことができるのでは」と考えたのが、現在の活動の始まりです。

今は、三重県産のブランド米「結びの神」など、常時6種類ほどのお米を栽培しています。ドローンで生育状況を確認し、データをもとに肥料を散布するなど、前職で培ったデジタル技術や品質管理のノウハウを生かしています。米作りというより、「自分の商品を作る」感覚で取り組んでいます。



デジタルツールを使う辻さん

### 活動で心掛けていることは？

農作業の安全性や米の品質の確保は、前職での経験から強く意識していますが、「関係性を育てるここと」も大切にしています。その一つとして、ご飯を好きだけ食べられる交流イベント「無限めし」を県内外で開催しています。音楽やアート、地方創生などのさまざまなテーマを通じて参加者がつながり、新たな可能性を広げるイベントです。そういう場所で、つじ農園がどのような想いで米作りをしているか



交流イベント「無限めし」の様子

を伝えています。お客様が商品を直接見て、納得してくださることが何より大事だと思っています。

農園には、地域の方や学生、海外の方など多くの人が訪れます。その時もちょっとした農作業やイベントなどのお手伝いをお願いするんです。すると、次も来てくれやすくなるんですよ。そうやって関わる人たちが、気づけば仲間になっていく。そんな居心地のよい場づくりを心掛けています。



つじ農園の仲間たち

### 今後の目標を教えてください

都市近郊の農村では、農業をやめる人が増え、地域の活力が失われつつあります。そんな中、つじ農園のように人が集まり、つながりが生まれ、事業としても成り立つ場を全国に広げていきたいと考えています。そのため、つじ農園をさらに充実させて、「自分たちもやってみたい」と思ってもらえるモデルを確立していきたいと思っています。

また、私自身、三重県が推進する「みえDXセンター」で、「みえDXアドバイザーズ」の一員として、スマート農業の導入などに関するご相談も承っています。ぜひお気軽にお声掛けください。

「みえDXアドバイザーズ」  
の詳細はこちら



## みえのいいとこ！

津市

### 旧国鉄名松線伊勢奥津駅給水塔



2025年12月に開業90周年を迎えたJR名松線。終着駅「伊勢奥津駅」にある給水塔は、開業時に蒸気機関車へ給水するために建てられました。2024年には、国土の歴史的景観に寄与するものとして、国の登録有形文化財建造物になり、名松線の歴史を見守り続けています。当時の鉄道風景を今に伝える地域のランドマークへぜひ立ち寄りください。

場所 津市美杉町奥津1288-23

TEL 059-272-8080（津市役所 美杉総合支所）



動画も見てね！

■ 1月号は、令和7年12月4日時点の情報に基づき作成しています。

■「県政だよりみえ」は、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。

■県の公式SNS（Facebook・X）でも、県からのお知らせを随時配信しています。

リサイクル適性④  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ちぎょうにやさしい

VEGETABLE  
OIL INK

次号の  
お知らせ

2月号は2月1日（日）に新聞折込予定です。

広告

TAKADA

TAKADA

株式会社 高田工業所

四日市事業所 〒510-0845 三重県四日市市海山道1丁目1455番地

皆様に支えられ 創業85周年



## 東海三県一市グリーン購入キャンペーン

対象商品を購入した方の中から抽選で、素敵なエコ商品をプレゼントします。

日 1月9日（金）～2月8日（日）

問 環境生活部 環境共生局 地球温暖化対策課

TEL 059-224-2366 F 059-229-1016

東海三県一市グリーン購入キャンペーン 検索

## 三重県障がい者芸術文化祭（ステージ発表）

歌、演劇、ダンスなどのパフォーマンスで思いや個性を表現します。

日 1月31日（土）9時30分～16時

所 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）けやきホール

問 県障がい者芸術文化活動支援センター

三重県障がい者芸術文化祭 検索

TEL 059-232-6803 F 059-231-7182



## 2026年新春展示「三重のウマたち」

干支の「午（馬）」をテーマにした特集展示を開催します。

日 1月18日（日）まで 9時～17時

休 年末年始、月曜（祝日の場合は翌日）

所 県総合博物館 3階 三重の実物図鑑

問 県総合博物館（MieMu） TEL 059-228-2283 F 059-229-8310



ウマ頭骨

## 三重県空き家対策セミナー

空き家を「負動産」にしないための知識と対策を紹介するセミナーを開催します。

日 1月31日（土）13時30分～16時

受 1月26日（月）まで 所 県四日市市庁舎

対 空き家を所有している方・相続予定の方など 定 100人

問 県土整備部 住宅政策課

TEL 059-224-2720 F 059-224-3147

令和6年度  
セミナーの様子

## みえ多文化共生イベント

多文化共生についてのトークイベントと交流会を開催します。

日 1月31日（土）トークイベント：10時～12時、交流会：12時～15時

受 1月20日（火）まで ※トークイベントのみ

所 アスト津3階 みえ県民交流センター 定 60人 ※トークイベントのみ

問 みえ市民活動ボランティアセンター みえボランティア 多文化 2025 検索

TEL 059-222-5995 F 059-222-5971

## 三重県難病相談支援センター TEL 059-223-5035

療養や日常生活上の悩みや不安、就労などについて相談できます。

受 月曜～金曜 9時～16時 ※祝日、年末年始を除く

対 難病患者ご本人やそのご家族

三重県難病相談支援センター 検索



## 難病医療相談（三重大学医学部附属病院内）

医療に関する疑問や不安などについて TEL 059-231-5697 相談できます。

受 月曜～金曜 9時～17時 ※祝日、年末年始を除く

対 難病患者ご本人やそのご家族

（三重大学医学部附属病院の患者さん以外も相談できます）

凡例

日時・期間 受付・申込 休 休館日 所 場所 対 対象 定 定員

料金（マークのないものは原則無料） 間 問い合わせ先 TEL 電話 F FAX

県の最新イベント情報などは、ここからチェック！

最新情報は、各ウェブサイト、問い合わせ先

三重県 お知らせ イベント 相談窓口 検索

に確認をお願いします。

キーワードを本紙から探し  
県産品を当てよう！

応募方法 ① ? に当てはまる

キーワード ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話

番号 ⑥県政だよりの入手先 ⑦県政だより

の感想を明記して、ハガキ、メール、応募

フォーム（下記二次元コード）からご応募ください。※応募は1人1回限り

〒514-8570（住所不要）

三重県広聴広報課

「県政だより1月号プレゼント」係

E-mail dayori@pref.mie.lg.jp

（プレゼント応募専用メールアドレス）



応募締切 令和8年1月30日（金）到着分

当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

個人情報は賞品発送および読者層の調査に関する目的以外には使用いたしません。

広告

TAKADA

TAKADA